

テーマ

コメ増産

くふりまあされる曲辰家のとれ持ち

都の北学園  
第五学年  
児童

I このテーマの記事を選んだ理由を書いてください。

僕の祖父は兼業コメ曲辰家で、僕の家はお米に困ったことはありません。だからお米の価格が上がるや備蓄米の放出などのニュースを聞いても僕はと他人事でした。でも「減反」から「コメ増産」に政策転換するという記事と関連記事を読んで、コメ農家の気持ちを考えたいと思ったのでこの記事を選びました。

II 比べる記事のそれぞれの内容について分かったことを書いてください。

①について

増産表明を不安視するコメ農家の声ばかりやすかつたです。コメどころの新潟、福島県、山形県の知事の懐疑的な意見や苦言なども載っていて、コメ作りの近くにいる人の声を幅広く知ることができました。

②について

増産のメリットとデメリットをバランスよく知ることができました。コメ作りにかかる費用や今後の課題についても具体的な数字や話が出ていてわかりやすかつたです。

①と②を比べて分かったこと、自分で調べてみたいこと。

同じように曲辰家の声を載けても、記事の伝え方や取材の内容によって受けとり方が変わってくるんだなと感じました。僕も農家からコメ増産についての思いや考えを聞いてみたいと思いました。

III テーマについて、自分の考えや他の人と交流をして気付いたこと、調べたこと、提案などを書いてください。

コメ増産政策について祖父に聞いたら、「高齢者だと体力的にも限界が近いし、コメ作りに必要な新しい機械を買うのも大変。今さら減反政策で畑にした田んぼを戻して田作りして広げようとしてもあと何年農家の続けられるか考えたらダメだよ」と言われました。コメ増産でお米が足りれば安くなって生活できるし売れるお米が増えれば曲辰家の収入も増えると思っていた僕は考えが甘かつたし反省しました。高齢者や後継者がいない農家では祖父が言うように増産のための対応ができません。若い曲辰家や大曲辰家にはチャンスでも、戸惑いや不安視する声が出るのも当然です。しかも増産でお米が余ったから今度は価格が下がって曲辰家は生活できなくなります。だから僕は増産政策がうまくいくためには、作りすぎないように生産量を決める、曲辰業機械をレンタルできるサービスを作る、高齢曲辰家の田んぼを若い人が手伝って組むを作るなど、コメ作りのための環境を整えることも必要だと考えました。曲辰家が安心してお米を作れる政策になって欲しいと思います。